

やっときゃよかった、やってよかった防災式

前回に引き続き、あなたの命を守るキーワード「避難」から『備えること』の防災式を考えましょう。

◆シリーズ「あなたならどうする？」パート1 2

いきなりですが、あなたにお聞きします。

「なぜ避難するのですか？」・・・どう答えますか？

人には、それぞれ考え方や色々な意見があると思います。私の答えは「**生きたい**」からです。そして、私には**生きることの権利**があり、合わせて**生きる為の責任**もあります。この権利と責任は、日本国憲法に明記されています。



「**生きることの権利**」は、自由に生きる権利（憲法第13条）として次のように明記されています。

『**すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする**』

一方「**生きる為の責任**」は、自分で命を守る責任（憲法第12条）として以下の通りです。

『**憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであって、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ**』

簡単に言えば、災害の為に備えることは、「生きることの権利」だけではなく、「生きる為の責任」があるということなのです。ところがその責任を、負担・迷惑と思っているのが現状ではないでしょうか？

昨今、これだけの大災害や凶悪犯罪が発生する中で、「防災・防犯」と声高に唱えても、多くの人には興味をもとうとしない。それはなぜでしょうか？

過去の災害の教訓の中に、「あたかも正義のような顔をしてそれは潜んでいる」と考えられます。



過去の災害では、備えていた人にも、備えを怠っていた人にも、**同様に支援がもらえる。ボランティアが来てくれる。救助もしてもらえる。**それなら「備えなくても良いか」と思ってしまふ。実際、備えていた人が後回しになっている場合も少なからずあるのです。だったら「備えなくても良いよね」と楽観的で、安上がりを選択する人が多くなっています。確かにそうかも知れない。何十年・何百年・何千年に一度の大きな災害の為に、自分の大切なお金を掛けて備えをする。それも、いつ来るのか判らない迷惑なものの為に・・・なのです。

このように人々の意識を誘導している原因のひとつには、メディアを通して見る災害後の映像があります。

映し出されるのは、支援物資を無償で受け取る姿、困っていたらボランティアが来て支援活動をする姿、救出にいたっては、生きて救助される人の姿です。しかし、これらに潜む恐ろしい事実は報道されていないのです。それは何か？これらがすべて「**生き残った人たちへの支援であること**」と言う恐ろしい事実なのです。

現代の日本では、非常に優しいまちづくりが行われているように思われます。**備えても備えなくても、同様の支援が得られることです。**

例えば、「**宝くじ！買っても買わなくても当たりますよ**」となれば、あなたは宝くじを買いますか？それと同じことが防災の現状です。



災害が発生すると、多くの人には「**被災者**」と一括りにされ、被災者はお客扱いされる。酷い場合には、物資が不足したりすると、支援者に罵声を浴びせたりもする。行政職員や自衛隊員、消防・救急隊員にも「助ける！仕事だろ！」等と怒鳴り倒す。更には帰宅困難者も同じこと。自分が、備えの準備していなかったツケを他人にカバーさせる。これは自分が備えを怠っていたことをそっこのけにしておいて、あたかも自分の権利だけを主張する恥ずかしい行為です。行政職員、自衛隊員、消防・救急隊員等の方々も同じ被災者である場合も多く、そのような悲惨な中でも備えていた上に災害時でも頑張る人も多くいる。備えていると「何が起こり、何がどう変わるのか」が理解できますが、何もせずに備えていなかったツケを他人に転嫁する。「**宝くじを買わなくても当たる**」と本気で思っていたのでしょうか。

「**防災の宝くじ**」は、買ってあげば（**防災活動しておけば**）、限りなく命を守ることに繋がる「**大当たり**」がもれなく付いてくるのです。あなたの命だけではなく、あなたの大切な人の命をも守ることができる。こんなに素晴らしい「**大当たり**」にも関わらず、防災の宝くじを買わない人が多い（**防災活動しない・備えない人が多い**）。

私の「**生きたい**」という答えは、たった一人で生き残ることではなく、私の大切な**家族や友達**と、これからもやりたいこと、話したいことが沢山ある。だから私は「**生きたい**」のです。

「避難」「備え」をするかしないかは、あなた次第！そして「命を守る」これもあなたにしかできないことなのです。「**生きること**」は、私たちの「**不断の努力**」によって担保されるのではないのでしょうか。

今回の防災式は、「**生き残りたいと真剣に思う人が、助け合い、共に生き残ることのできるシステムを構築する**」その為にも「**あいさつからはじめる防災の宝くじをみんなで買しましょう（活動しましょう）！**」